

褥瘡発生率

《指標の説明・定義》

褥瘡は、疼痛などにより患者の QOL（生活の質）の低下をきたすとともに感染を引き起こすなど治療が長期に及ぶことによって、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大につながります。

2017年9月 新棟開設後のデータ収集とした。

《計算式》

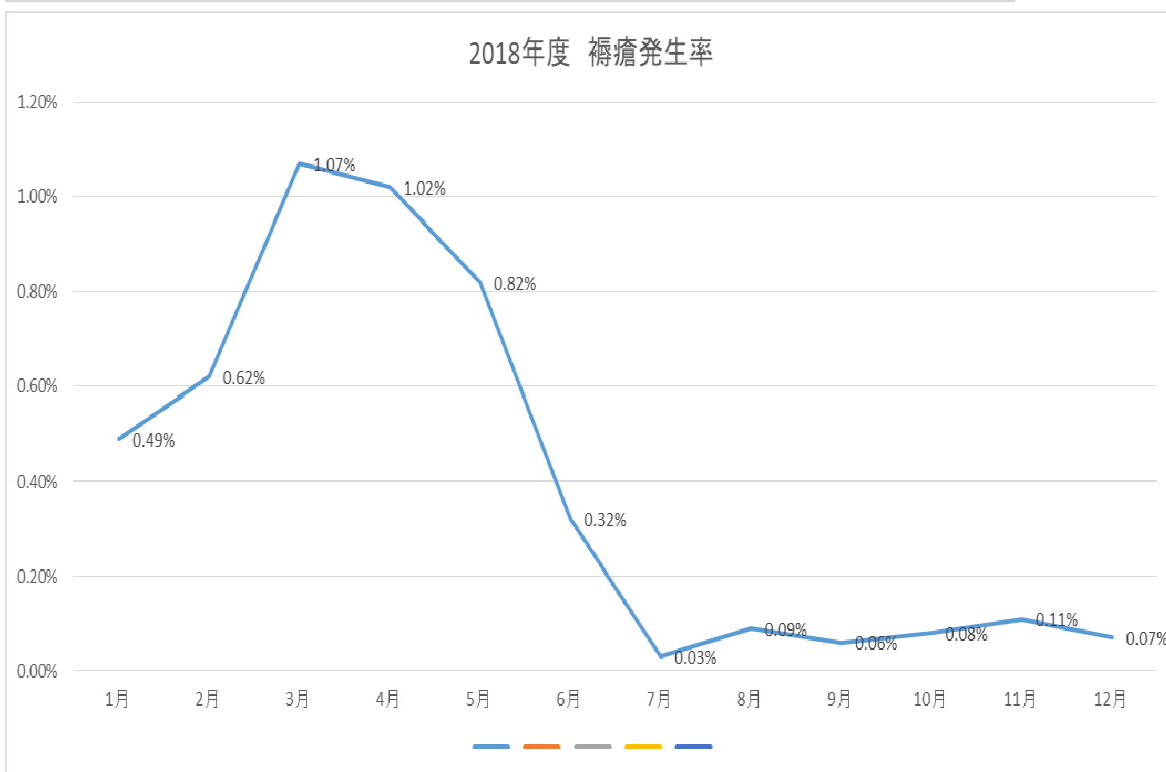
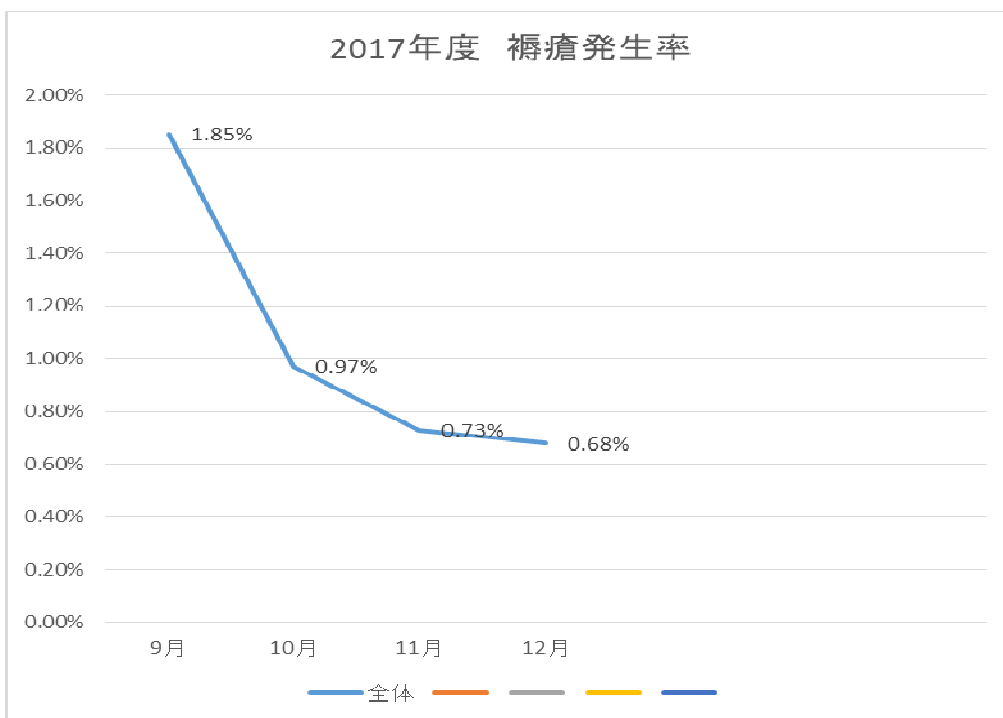
分子：調査期間における分母対象患者のうち、d2以上の褥瘡の新規院内発生患者数

分母：入院延べ患者数

褥瘡評価用 深さ (Depth) の分類	
d0	皮膚損傷・発赤なし
d1	持続する発赤
d2	真皮までの損傷
D3	皮下組織までの損傷
D4	皮下組織を超える損傷
D5	関節腔・体腔に至る損傷
DU	深さ判定が不能の場合

《褥瘡発生率》

調査期間	指標値	調査期間	指標値
2017.09	1.85%	2018.05	0.82%
2017.10	0.97%	2018.06	0.32%
2017.11	0.73%	2018.07	0.03%
2017.12	0.68%	2018.08	0.09%
2018.01	0.49%	2018.09	0.06%
2018.02	0.62%	2018.10	0.08%
2018.03	1.07%	2018.11	0.11%
2018.04	1.02%	2018.12	0.07%



褥瘡発生は患者・家族に肉体的にも精神的にも苦痛を与えてしまいます。
 このような褥瘡の発生を少しでも減少させるため、当院では多職種からなる褥瘡対策チームで年2回の院内研修・WOCを講師に招きより専門的知識学習の向上に努めています。
 今後もさらなる発生率低下に向けて対策の取り組みを続けていきます。